

「中学生みらい議会」(第12回堺市議会 議会報告会)の振り返り

●参加者の募集について

・中学生35名、一般1名の合計36名の参加があったが、10月下旬から急に申し込みが増えた。これは、開催を危惧した教育委員会が中学校の生徒会等に働きかけを行った結果である。そもそも、全議員が必死になって広報したのか、募集のSNSは的確だったのか、これらを分析し今後につなげなければならない。

・アンケート結果から、応募のきっかけの多くが「先生からの勧め」であった(自らの希望ではない)ものの、議会報告会への満足度は極めて高く、教育的効果が高いことが類推されるため、次回開催の際には初期段階から、各学校への協力を積極的に求めていくべきではないか。また、そのためにも今回のアンケート結果を広く学校にフィードバックすべきではないか。

・前々回の、参加対象者を医療・介護・福祉関係者とした時と同様に対象者を絞った方が、議論が深まりやすいと感じた。

●開催時期について

・3年生の参加希望があったことも聞いているが、今回は受験前の時期であった。次回、開催時期を検討する際、対象を学生とする場合は、この点の配慮が必要と思われる。

●事前・当日準備と後片付けについて

・業務内容や準備(備品)リストを把握の上で、タイムスケジュールをもとに各議員に役割を落とし込む必要があり、この担当はかなりハードで大変な役目であることから、複数人での対応が必要である。今後は、この振り返り作業も参考にマニュアルをブラッシュアップしていく作業も必要である。

●開催結果のまとめについて

・第2部意見交換会のまとめにあたり、事前にフォーマットを作成しておくべきであった。

●中学生への説明や回答について

・難しい言葉はできるだけ使わずに説明したほうが良い。

・アンケート結果において、質問に対する答弁に不満の意見があったことを受け、第1部の質疑応答を、今回と同様の自由質疑とするのであれば、正副委員長を充て職として答弁者にするより、各会派等で答弁者を選抜するなどの配慮をすべきではないか。

●議会報告会終了後の写真撮影について

・議会報告会当日に、急に写真撮影する旨の依頼があり、急な対応が迫られたため、後片付けの開始が遅れた。

・議会報告会終了後に、自由時間として議場を開放して個々に記念撮影してもらえばよいと感じた。またそれをSNS等で発信してもらえれば、関心の拡大に繋がることが期待できる。